

K14-03 リエゾンラボ研究推進施設（LILA）：発生医学の共同研究拠点における研究支援体制

関 丘、臼杵慎吾、藤村幸代子、谷直紀

発生医学研究所では、「リエゾンラボ研究推進施設」（LILA：Liaison Laboratory Research Promotion Center）を設置し、研究教育活動を総合的に促進する取組みを行っている。本研究所は、21世紀 COE プログラム（2002-2006年）とグローバル COE プログラム（2007-2011年）、そして、2012年から博士課程教育リーディングプログラム『グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO』を推進してきた。その間に、2010年に文部科学省「発生医学分野の共同研究拠点」の認定を受けて、我が国の研究者コミュニティの共同研究の推進を支援している。当初の COE 活動の中核になったリエゾンラボを、2012年に LILA として拡充し、研究支援機能をここに集結させた。毎週開催の研究セミナーは 350 回以上に達し、さまざまな研究分野の研究者が相互作用する触媒的な役割を果たしている。LILA には、共通実験室および共通機器を配置し、初心者でも実験ができるように、技術支援を整備した。共同研究拠点として、学内外の研究者に開放し、研究者間の交流の場にもなった。LILA は、「STICS」という 5 つの支援事業を行っている。ソーシャル支援（S）では研究成果の公表活動、アウトリーチ活動を行い、テクノロジー支援（T）では機器管理と技術支援を行っている。その中心は、研究所内に整備された共通機器と利用支援である。研究所 HP に機器の一覧・予約システムを導入して効率的に運用し、また技術支援員による先端機器の利用サポートと受託解析を行っている。インフォメーション支援（I）ではバイオインフォマティクス解析の支援、キャリア支援（C）では若手のキャリアアップと男女共同参画の支援、セイフティー支援（S）では研究活動における安全管理を図っている。